

平成30年5月18日発信 電磁的記録による議論及び承認（定款32条2項の規定）

参加者 赤石理事長、鈴木明朗、橘内木潔根、乾清重、佐藤敬、阿部克徳、館石治、佐藤哲哉、木村重男（10名中9名から返信）結論

1. 報告事項 下記報告事項を了承
2. 審議事項 新役員体制発足に伴い、各理事の職務分掌を確認し、今後の円滑な運営に繋げる。

1. 報告及び承認事項

1. 新規正会員入会艇登録承認依頼

30.4.24 相川 彰さん 推薦：赤石理事長

艇名「シーウルフ」（YAMAHA 30CII） C-22棧橋希望

30.4.26 奥村 優さん 推薦：熊谷桂林さん（Sol salienteII）

艇名「SACHI」（デヘラー28） C-15棧橋希望

上記2名の方と面談し、MORCや棧橋加入について説明を行ない了解を得た。

30.5.01 高橋 彰さん 推薦：武藤潤隆さん（GranpaII）

2. 退会会員

30.4.25 中山大典さん（松島町磯崎中山クリニック）一身上の都合により。

従い、上記新規加入・退会者を加減し、現時点での在籍数：88名となります。

- (3) 30年度港湾使用許可受領（3/30）

棧橋海面占用（A,B,C棧橋）及び土地関係

30年A棧橋海面占用料：186,450円、B棧橋海面占用料：13,850円

土地代：137,120円 合計 ￥337,420円

海面占用料、及び土地代は納入済（4/19）

4. H30年度法人県税免除申請済（4/24）：塩釜県税事務所

5. 七のリゾートの「ジェットボート係留要望」に回答（4/27）

「A棧橋に臨時係留扱いで係留を許可」と伝達

6. 6/30（土）予定の安全講習会への講師派遣要請...宮城海保了解（5/2）

・救命胴衣着用基準変更に伴う規制の具体例解説

・国際VHF無線運用の実際

7. 臨時係留艇受け入れ 5/4～5/6 メイストーム避難のため

日本1周ヨット「アミーゴ号」カタリーナ28 磯貝長松艇長 サンマリーナ宮崎所属

8. 小浜港防波堤復旧工事日程

すでに東防波堤外側へのテトラ投入工事が開始され、北側湾口に対するテトラ投入工事も5月末をメドに実施予定。これに伴い、東泊地に係留中の船艇はC棧橋や他の場所に移動済（館石さんに対応依頼）。工事終了後、アンカーを再投入し原状復帰の予定。

2. 審議事項

新役員体制発足に伴い、各理事の職務分掌を提案・審議し了解した。

1. 総務委員会：橘内、木村、（事務局：出雲）

2. 広報委員会：佐藤哲哉、

3. レース委員会：鈴木、乾
4. 会員委員会：佐藤（敬）、阿部（松島F）
5. 海事思想普及委員会：舘石（ヨットスクール運営：佐藤良吉さんと協力）、橋内（兼）
6. 安全委員会：木村（兼）
7. 泊地委員会：加藤（松島F）、佐藤敬（小浜F、兼）、舘石（小浜港設備担当）

<参考：各委員会の職務：MORC運営規定より抜粋 1998年制定>

- ① 総務委員会：MORCの運営に関すること、総会、理事会、事業計画・決算報告作成、会費徴収、会員および所属艇の名簿作成、理事登記など。
- ② 広報委員会：会報の発行（ホームページの運営を含む）、対外PR、その他広報活動
- ③ 会員委員会：会員相互の親睦と友情の高揚を図る。海技免状や無線に関する資格取得に関すること。各種会合、行事への参加奨励など。
- ④ 海事思想普及員会：ヨットスクールの企画、開催に関すること。体験帆走の企画、開催。ヨットマンの指導、育成。セーリングや安全に関する講習会、講演会の開催。
- ⑤ 安全員会：外洋ヨットの安全に関すること。マリンVHF海岸局の運営、レスキュー業務に関すること。
- ⑥ レース委員会：外洋レースの企画、実施。計測、レーティングに関すること。レースルールの調査研究、情報資料の収集。ポイントレースの指導及び勧告やレース審判に関すること。
- ⑦ 泊地委員会：泊地及び航路の調査研究、情報収集とそれらの提供。フリートにおける会員、クルー相互の交流促進や地域社会との連携、社会貢献の実施。フリート運営に対する指導、勧告等。

以上